

バリウム飲用時の香料添加

～受診者にやさしい検診のために～

○石田篤史 松井志穂 半澤俊和 林王明美

5 亀山欣之 中村 強 油井克広

公益財団法人 福島県保健衛生協会

【はじめに】

10 上部消化管造影検査時に使用しているバリウムは、以前に比べ高濃度低粘性化し、
飲用時の量も少なくなり、口腔内でのべた
つき感も改善されてきている。しかし、バ
リウムの飲みにくさ（味・香り等による不
15 快感）のため、バリウムによる検査を希望
しない方や、受診してもバリウム飲用に時
間がかかり検査に支障が出るケースが少な
くない。そこで今回、バリウムの飲みにく
さ改善のため、香料を添加したバリウムを
20 飲用してもらい、その飲用感想についてア

アンケートを実施したので、その集計結果と
撮影画像についての検討結果を報告する。

【対象・方法】

平成26年1月～3月に実施した当協会職員
25 検診で、バリウムによる上部消化管造影検査
を受診した112名を対象とした。方法は、ま
ず受診者に4種類の香料（バレンシアオレンジ、
レモン、サイダー、ストロベリー）から
1つ選んでもらい、通常使用バリウム
30 （210w/v%、140cc）に香料約1ccを添加し
たものを飲用に供し検査を行った。検査後に
アンケート（①選んだ香料②飲みやすさ③添
加物を加えた感想）回答結果を集計した。さ
らに前回受診歴があり、画像が保存されてい
35 た受診者に対しては、胃がん認定技師2名で
得られた画像を比較検討し、バリウムの付
着、流出度合について視覚評価を行なった。

【結果】

香料の中で人気が高かったのは、レモン
40 37.7%とバレンシアオレンジ33.6%であっ

た。飲みやすさでは男性 78.6 %、女性 60.6 %、全体で 68.9 % の受診者が飲みやすいと回答した。香料別ではオレンジで 78 %、サイダーで 76 % の受診者が飲みやすいと回答した。香料を添加した方が良いと回答した受診者は男性で 66.1 %、女性で 71.2 %、全体で 68.9 % であった。撮影画像の検討では、香料添加による画質の低下はほとんど見られなかった。

50

【考察】

香料を添加したバリウムを飲用することで、約 70 % の受診者が添加した方が飲みやすいと、回答していたことから、香料を添加することにより、受診者のバリウム飲用に対する苦手意識や不安等の負担が軽減されることが分った。また前回の画像との比較では、香料添加によって、胃液分泌が促進され、バリウムの付着低下や流出などへの影響が心配されたが、画像精度上の問題

55

60

はほとんど認められなかった。今回は職員
検診での試行であったが、今後はこれらの
結果を、施設検診や巡回検診での使用に反
映させて行きたい。